

IF関数

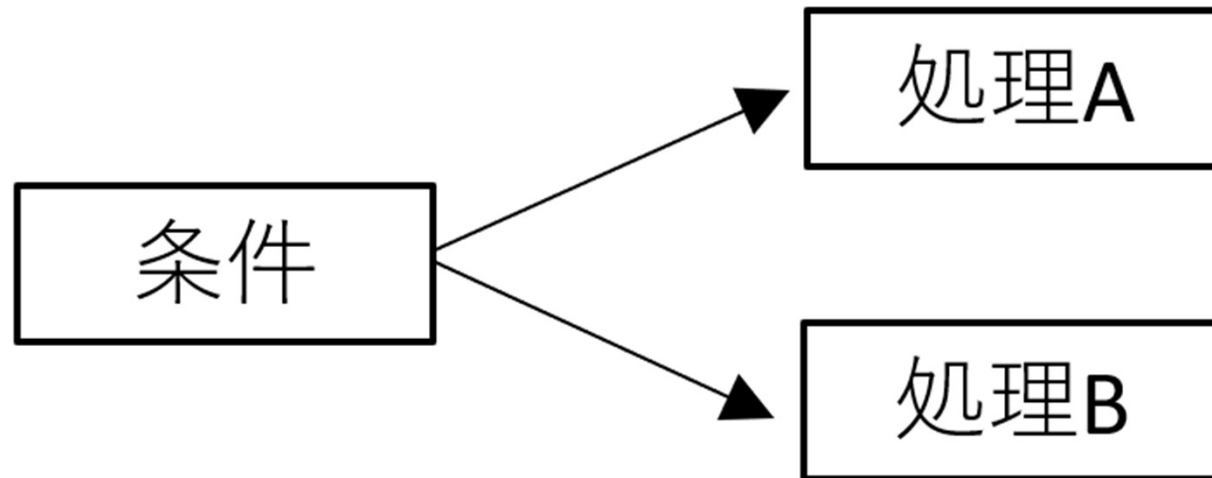
内容

- IF関数の役割
- IF関数の構造、使い方
- 問題演習

IF関数の役割

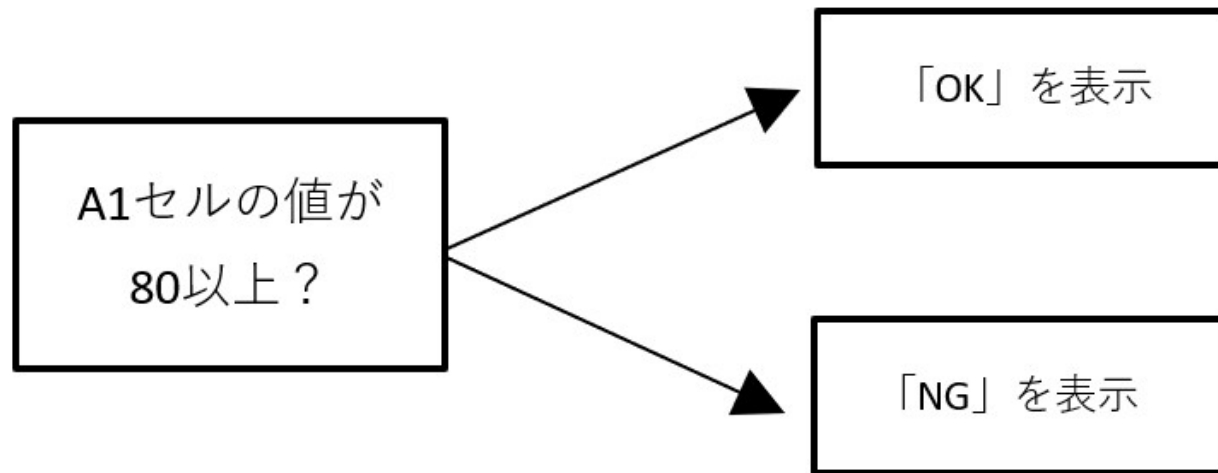
IF関数の役割

IF関数は、**場合分け**をしてくれる関数



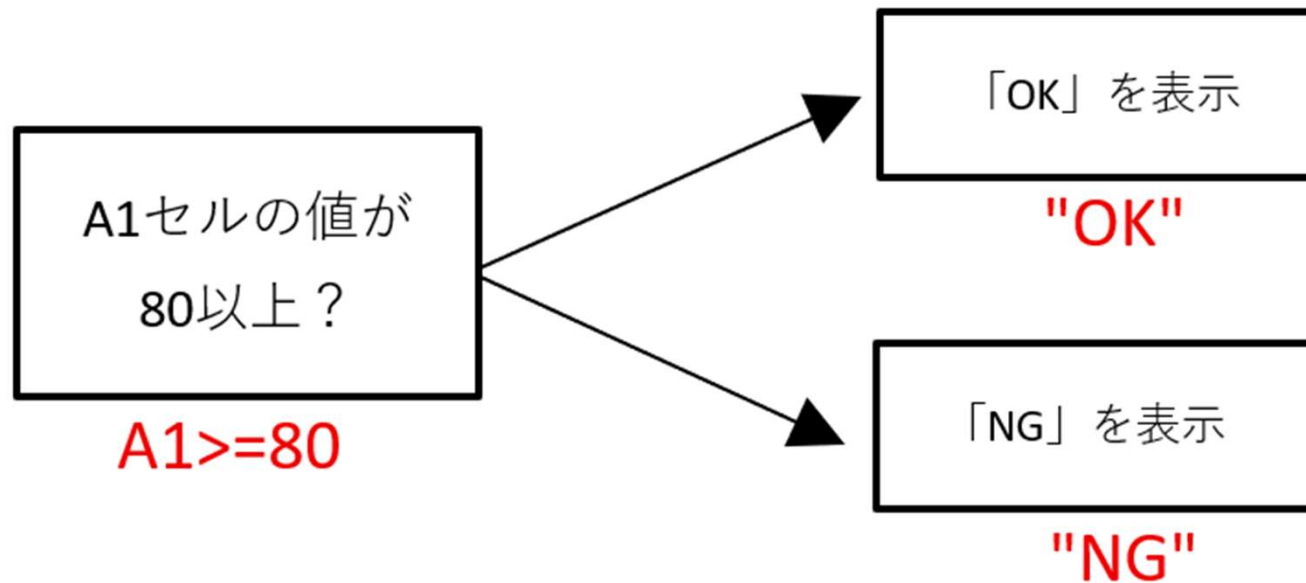
IF関数の役割

IF関数は、**場合分け**をしてくれる関数



IF関数の役割

IF関数は、**場合分け**をしてくれる関数



IF関数の構造・使い方

IF関数の構造・使い方

IF関数の基本構造

=IF (引数)

引数に**3種類**の値を指定
→場合分けをしてくれる

IF関数の構造・使い方

IF関数の基本構造

=**IF** (論理式, 値が真の場合, 値が偽の場合)

論理式：条件
値が真の場合：条件を満たす場合
値が偽の場合：条件を満たさない場合

IF関数の構造・使い方

IF関数の基本構造

=IF (A1>=80,"○","×")

論理式：A1セルが80以上だったら
値が真の場合：○を表示
値が偽の場合：×を表示

IF関数の構造・使い方

IF関数の使用例

=IF (A1>240,"合格","不合格")

=IF (A1="○",C3,C4)